



特集 「腹部超音波検査について」
 内科医師 高田珠子 (たかた たまこ)



●超音波検査とは

人間の耳に聞こえない高い周波数の音波をあてて、音響インピーダンスの異なる境界面で反射してきた波を受信し、コンピューター処理して画像化している検査です。

●検査方法

おなかにゼリーをぬって、探触子（プローブ）をあてるだけです。痛みもなく、被爆もなく全く侵襲のない検査です。

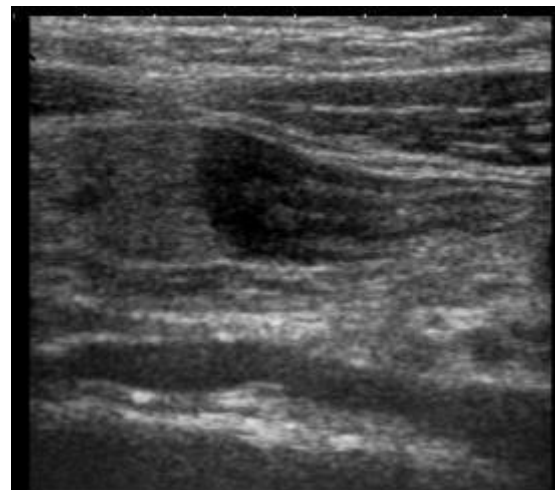
食後はガスが多く、胆嚢も収縮するため、絶食の状態で行います。しかし腹痛など緊急で施行する場合は、この限りではありません。膀胱・前立腺・子宮などは、尿がたまっている方が詳しく観察できるので、検査前は可能であれば排尿をがまんして頂いた方がよいです。

●何がわかる？

対象臓器は、肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓、腎臓、大動脈、膀胱、前立腺、子宮、卵巣などです。消化管については、小さなポリープや早期癌を発見することは困難ですが、炎症や腫瘍によって壁が肥厚したり、病的に拡張している場合は診断に有用です。



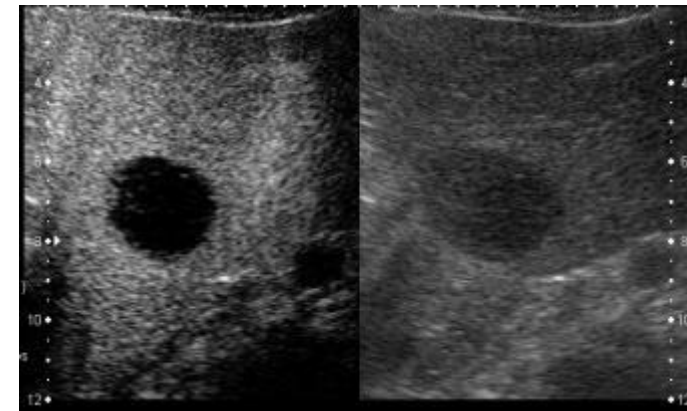
写真：虫垂炎



写真：クローン病

●造影超音波

超音波用の造影剤を使用します。卵アレルギーのない方であれば、腎機能や内服中の薬も関係なく、安全に使うことができます。腫瘍の存在診断、質的診断、肝腫瘍の治療後効果判定、臓器の虚血（血流障害）の評価に有用です。



写真：転移性肝腫瘍

超音波検査はあてるだけでお腹の中の多くの情報が得られる検査です。年に1回検査をお勧めします。

新しい医師の紹介 内科医長 鳩岡 正浩 (はとおか まさひろ)



この度4月より三菱三原病院の内科に赴任しました鳩岡正浩と申します。平成20年に広島大学を卒業し、安佐市民病院や中国電力病院を経て、3月まで広島大学大学院に在籍していました。当院では内科一般の診療に従事していますが、専門は消化器内科の肝臓領域です。肝疾患にはウイルス性肝炎（B型/C型肝炎）やこれらに起因する肝硬変・肝癌がありますが、C型慢性肝炎については内服薬による治療で9割以上がウイルスを駆除できる時代になっています。また健診やドックでは脂肪肝によく遭遇しますが、一部の脂肪肝には肝硬変へと移行する症例もあるため早期に治療介入して発癌を食い止めることが重要になってきています。なかなか自覚症状の出にくい臓器でもあるため、肝機能障害を認める患者さんがおられましたら当院に紹介いただければと思います。至らぬ点が多々あると思いますが、三原地区の医療に貢献できるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。

耳鼻咽喉科診療内容変更のお知らせ

毎週月・水・金曜日午後診療が子供外来から一般診療に変更となりました。子供から、大人の方、ご高齢の方まで、幅広く診療いたします。



午前診療 一般診療
 午後診療 月・水・金曜日…一般診療 火・木曜日…特殊検査 2・4週火曜日…補聴器相談（予約）

三菱三原病院 電話（代表）：(0848)-62-7331 FAX:(0848)-62-7764
 居宅介護支援事業所 電話（代表）：(0848)-62-7470 FAX:(0848)-62-7431
 各種介護保険事業 訪問介護事業所：(0848)62-7720 ショートステイみつびし：(0848)61-4101
 デイサービスみつびし：(0848)62-7742
 三菱三原病院のホームページ <http://www.mmhosp.jp/>